

事務事業名	栃木 S C 支援真岡市実行委員会支援事業				担当	教育委員会 スポーツ振興課 指導係	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名	V-7 スポーツによるもおが創生の推進	
施策名	4	生涯スポーツ・レクリエーションの振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	真岡市補助金等交付規則					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成20 年度～）	
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	5. 保健体育費	1. 保健体育総務費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	<p>真岡市は、「市民ひとり1スポーツ」をスローガンに体力の向上に努めており、特に、スポーツを通して青少年の健全育成を図ることは、必要不可欠なことなので、栃木 S C の豊かな経験と卓越した技術をもとに、本市の子どもたちに夢を持つことの大切さ、フェアプレー精神の重要性など、一流選手に直接触れることで伝えられるとともに、栃木 S C の支援、更に、本市の P R を実施している。</p> <p>栃木 S C 支援真岡市実行委員会を組織する。</p> <p>事業内容 ・少年サッカー教室の開催（栃木 S C 選手による指導及びサイン会等） ・真岡市民デーの開催（栃木 S C のホームグラウンドでの公式戦観戦及び真岡市の P R ・物産販売等）</p>						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 実行委員会の開催 少年サッカー教室の開催 ホームゲームでの真岡市民デーの開催（市物産ブースの出展） 31年度計画 前年度同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
	ア 交付金額	千円	700	700	700	700	600		
	イ 実行委員会開催数	回	2	2	2	2	2		
	ウ 少年サッカー教室開催数	回	1	1	1	1	1		
エ									
オ									
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 児童・生徒 実行委員会	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
	ア 児童・生徒	人	6,996	6,980	6,858	6,798	6,760		
	イ 実行委員会の人数	人	15	15	15	15	15		
	ウ								
エ									
オ									
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） サッカーを通して、少年スポーツ人口の底辺拡大を図る。 市民デーの開催により、真岡市の P R の場となる。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
	ア 市民デー参加人数	人	461	293	274	275	350		
	イ 少年サッカー教室参加人数	人	208	130	111	144	150		
	ウ								
エ									
オ									
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 市民ひとり1スポーツの推進と少年スポーツの振興を図る。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
	ア スポーツレクリエーションをしている市民の割合	%	47.3	60.7	59.3	58.5			
	イ								
	ウ								
エ									
オ									
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	700	700	700	700	600
	事業費計(A)		千円	700	700	700	700	600	
	人件費	人員	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2
			延べ業務時間	時間	80	80	80	80	80
			人件費計(B)	千円	335	332	332	334	334
	トータルコスト(A)+(B)		千円	1,035	1,032	1,032	1,034	934	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	栃木 S C は、市民密着型のクラブチームを目指して、市民デー等の事業開催を各市町に呼び掛けている。 栃木 S C より要請があり、実行委員会を組織して、少年サッカー教室及び真岡市民デーの活動のため、市より交付金が交付されることになった。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	認知度は上がっているものの、2015シーズンにJ2最下位となりJ3へ降格、その後、J2へ再昇格を果たしたものの成績は低迷しており、ホームでの勝ち試合が少なくなっていることも影響して参加者は減少傾向にある。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	栃木 S C の今後の活躍が期待されている。 ここ数年は成績が低迷しているが、そのような状況であっても、関係者からは上位カテゴリへの昇格が望まれている。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民ひとり1スポーツの振興及び心身に健全な少年スポーツの振興に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民ひとり1スポーツの推進、少年スポーツの振興及び真岡市のPRは、市の責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 生涯スポーツの振興を図っている。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 事業の参加人数を増やす周知を図る必要がある。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 市民ひとり1スポーツの振興を図る場、及び、真岡市のPRを図る場が減少する。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない 類似事業はない。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 交付金のみであり、必要最少限の経費である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最少限の人件費であり、削減余地はない
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 実行委員会は、市の交付金及び団体の協賛金により運営されている。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続 事業の参加人数を増やす。	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？ 関係団体等による事業のPR強化を図る。																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							